（様式1）

施設指定管理者モニタリングチェックシート

施　設　名	**豊明市南部児童館**
指定管理者名	株式会社日本保育サービス
指　定　期　間	令和7年　4月　1日　～　令和12年　3月　31日
所　管　課	子育て支援課

区分	項　　目	令和7年度　前半期（4～9月期）				令和7年度　後半期（10～3月期）			
		指　定 管理者	指定管理者　備考	市	市　備考	指　定 管理者	指定管理者　備考	市	市　備考
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】								
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A	仕様書に基づき遵守している	A		A	仕様書に基づき遵守している	A	
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A	同上	A		A	同上	A	児童クラブ併設の特性を活かし、交流を促進する運営が行われている
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A	常時2名体制としている。	A		A	常時2名体制としている。	S	市内5館の連携を活かし、施設間で職員を相互支援する体制により安定した運営を実現している
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A		A		A	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A	その日の出来事や来館者の様子について適切に記録している。	A		A	その日の出来事や来館者の様子について適切に記録している。	A	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A	非常時も全職員が同様の対応ができるようマニュアルを常備している。	A		A	非常時も全職員が同様の対応ができるようマニュアルを常備している。	A	統一マニュアルを作成し、利用者参加型訓練を毎月実施している
	【利用者に関する業務】								
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		A	前年度比▲16.6%（全館平均では＋20.5%）一方で児童クラブ＋16.1%	A		A	前年度比▲23.4%（全館平均＋2%）一方で児童クラブは＋17.1%
	中高生の利用確保に向けた取組がなされているか	A		A		A		A	
	【保守点検並びに清掃業務等】								
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A	仕様書に沿い、適切に行っている。	A		A	仕様書に沿い、適切に行っている。	A	
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	A	職員による日常清掃に加え必要に応じ除草・剪定作業を行っている。	A		A	職員による日常清掃に加え必要に応じ除草・剪定作業を行っている。	A	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	速やかに相談・報告をしている。	A		A	速やかに相談・報告をしている。	A	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	館内掲示及び声掛けで周知を行っている。	A		A	館内掲示及び声掛けで周知を行っている。	A	
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等は行われているか	A	毎月、管理会社JMに必要に応じて相談している。	A		A	毎月、管理会社JMに必要に応じて相談している。	A	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		A	本部にて修繕履歴の管理をしている。	A	
	備品は適切に管理しているか	A		A		A		A	他施設と連携し備品を活用するなど効率的な運営に努めている
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		A		A	
	【事業の実施に関する業務】								
	指定事業は適切に実施されたか	A	仕様書に記載の指定事業を適切に実施した。	A		A	仕様書に記載の指定事業を適切に実施した。	S	施設の制約を補う工夫を行い、多様な事業を継続的に実施している
	自主事業は適切に実施されたか	A	モルックの体験行事を実施するなど適切に実施した。	S	7/18夏まつりに81人が来館。理科系のイベントも継続して実施	A	お抹茶会を実施。	S	指定管理者の負担により魅力的な自主事業を積極的に実施している
	【個人情報の取り扱い】								
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		S	連絡便上の個人情報の受発信を記録している。	A		A	
	【①に係る指定管理者の自己評価】	仕様書上の配置を遵守しながら適切に運営を行うことができた。 前事業者からの継続雇用で館長となった職員も徐々に業務に慣れ、施設管理をおこなえるようになった。 利用者数は上期で1，484人となっている。児童クラブがあることから利用者数が増えにくい環境にあるが施設と連携しながら利用者を増やしていけるような行事企画に努めていく。				仕様書上の配置を遵守しながら適切に運営を行うことができた。自主事業としてお抹茶会を開催するなど利用促進に取り組むことができた。			
	【①に係る施設所管課の評価】	緊急時対応訓練を原則5名以上の体制で実施し、実践的な危機対応力の確保に努めている。指定管理者及び館長の交代という大きな環境変化があった中でも、理科系イベントを継続し、夏まつりには81人の来館があったことは、事業の継続性と地域からの信頼を示す成果である。児童クラブ出身の中学生がボランティアとして関わるなど、継続的な関係性も育まれており、中高生の利用促進が期待される。個人情報の受発信を日誌に記録する取組は、情報管理の面で評価できる。一方、人員体制は厳しい状況にあるが、限られた人員の中でも子どもたちが落ち着いて過ごせている点は、日常の見守りと運営の丁寧さの成果である。		区分評価	A	配置基準を満たす人員体制を維持しながら、安全点検や衛生管理、事故対応マニュアルの整備を徹底し、年間を通じて安定した運営を行った。市内5館を運営する強みを活かし、施設間で職員を相互に支援する体制を構築することで業務の継続性を確保している。また、施設の狭隘化や児童クラブ利用者の増加という制約がある中でも、近隣コミュニティセンターを活用するなど工夫して事業を実施した点は評価できる。さらに、指定管理者負担によりバルーンショーや劇団公演を実施するなど、利用者ニーズを重視した取組も見られた。指定管理者交代に伴うルール浸透には課題があったものの、業務は概ね適切に履行されていると評価できる。	区分評価	A

区分	項目	令和7年度 前半期（4～9月期）				令和7年度 後半期（10～3月期）			
		指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
②サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】								
	窓口対応は適切に行われているか	A		A		A		A	
	アンケート結果等に基づき満足度向上に向けた取組がなされているか	A		A		A		A	工作の実施方法を工夫し、参加しやすい環境づくりに努めている
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A	苦情の受付は無かった。	A		A	苦情の受付は無かった。	A	利用者が親しみやすいアットホームな環境づくりに取り組んでいる
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A	8月に1件、救急搬送(眉部分の裂傷)があったが市へも迅速に報告を行った	A		A		A	
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A		A		A	
	モニタリングレポートの評価結果に基づき改善策を実施しているか	A	月次書類の提出方法の改善を図った。	A		A	月次書類の提出方法の改善を図った。	A	
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		A		A		S	参加者が多数得られるようなイベントを企画し、利用者満足度の高い事業展開が図られている。
	子どもへの性暴力に対する措置がとられているか	A	入社時に誓約書を提出いただくことに加え、疑わしき事案が発生した場合の対応フローも定めている。	A		A	入社時に誓約書を提出いただくことに加え、疑わしき事案が発生した場合の対応フローも定めている。	A	性加害発生時の対応マニュアルを整備し職員へ周知している
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】								
	クッキングなど食材扱う行事の実施時は検便を実施しているか	A	上半期は実施なし。	A		A	2月におこしもの作りを実施。行事に携わる職員が細菌検便を行った	S	食材を扱う行事では検便を実施して衛生管理を徹底している
	気になる子について適切に情報共有ができているか	A	現在のところ気になる子の来館は無い。	A		A	現在のところ気になる子の来館は無い。	A	施設長間の日誌共有や情報交換により、情報共有体制を構築している。
	事業者独自のサービス提供を行うなど、利用者の満足度向上に努めているか	A	工作・手芸の行事において利用者が作りたくなるような物の提案している。	A		S	外部団体を招へいした演劇会を実施	S	出演料を負担し、利用者目線の魅力ある事業を実施している
	職員の資質向上に努めているか	S	当社運営施設で発生したアクシデントを全職員に周知し「どうしたら未然に防げるか」ディスカッションを行っている。	A		S	毎月、様々な状況を想定した「ケース検討会」を実施しディスカッションを行うなど資質向上に努めている。	A	施設長同士の情報交換により運営ノウハウの共有を図っている
	【②に係る指定管理者の自己評価】	大きな事故・トラブルもなく上期を終えることができた。 引き続き施設と密に連携を取りながら利用者が安心して利用できる環境づくりに努めていきます。				外部団体を招へいした演劇会を開催するなど利用者満足向上に向けて取り組むことができた。 毎月実施しているケース検討会で安全配慮の知識向上を促し、それを非常勤職員へも共有している。施設全体での育成の質向上に努めることができている。			
	【②に係る施設所管課の評価】	不適切な育成の防止に向けて、育成室内へのスマートフォン持ち込みを会社方針として明確に禁止し、施設長会議での指示事項を3日以内に全スタッフへ周知するルールを徹底している。これにより、情報伝達の遅れや認識のばらつきを防ぎ、統一した対応が図られている。また、子どもへの性暴力防止の観点から、入社時に誓約書の提出を義務付けるとともに、疑わしい事案発生時の対応フローを整備しており、未然防止から初動対応までを見据えた体制が構築されている。		区分評価	A	全国規模で多数の児童館や放課後子ども教室を運営する指定管理者のノウハウを活かし、質の高い児童館運営に取り組んだ。市内5館合同による児童館まつりを施設長の発案により実現したほか、県内施設長同士の情報共有や相談体制を通じて運営力の向上に努めている。また、おこしもの作りではスタッフの検便を実施するなど衛生管理を徹底し、安全・安心な事業運営を行った。さらに、指定管理者が出演料を負担してバルーンショーや劇団公演を実施し、多くの参加者を集めるなど、利用者ニーズを重視した魅力的な事業展開が図られている。法人の知見やネットワークを活用しながら、利用者満足度の向上につながる質の高いサービス提供が行われていると評価できる。	区分評価	A
③サービス提供の安定性の確認	事業収支と収支計画書に大きな乖離はないか	A		A		A		A	
	必要な帳簿は備えられているか	A	経理部門で必要な帳簿を管理	A		A	経理部門で必要な帳簿を管理	A	
	経理処理は適正に行われているか	A	適切に処理をしている。	A		A	適切に処理をしている。	A	
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A		A		A	備品等の一括発注によりスケールメリットを活かしている
	団体の経営状況が的確に把握・分析されているか	A	消毒液等の一括購入でコストを削減している。	A		A	消毒液等の一括購入でコストを削減している。	A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A		A		A	全国で多数の施設を運営しており安定した経営基盤を有する
	【③に係る指定管理者の自己評価】	特に問題なく推移している。				特になし			
	【③に係る施設所管課の評価】	事業収支と事業計画に大きな隔たりはなく、経理処理等も適正に実施されている。		区分評価	A	衛生用品等の一括発注によりスケールメリットを活かした経費削減に取り組むとともに、全国で多数の施設を運営する法人として安定した運営基盤を有している。効率的な経費管理と豊富な運営実績に支えられた組織体制が確立されており、継続的かつ安定的なサービス提供が期待できる状況であると評価できる。	区分評価	A

【項目評価】

S（優　良）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。

A（良　好）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。

B（課題あり）：　協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。

C（要改善）　：　協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

S（優　良）　：　項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。

A（良　好）　：　項目評価が全てA以上。

B（課題あり）：　項目評価にBがある。

C（要改善）　：　項目評価にCがある。